

---

目次

.....

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2022 年 6 月・7 月分)

.....

【2】 --- 日本語の電子ブック 7300 冊トライアル中！

.....

【3】 --- 貴重書全文アーカイブに『歴代名醫傳略』『儒門事親』『製藥式』『脚氣論』追加

.....

【4】 --- UpToDate で見るサル痘最新情報

.....

【5】 --- 「BMJ Best Practice」に腎機能薬剤情報追加

.....

[ Book Review ] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

---

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2022 年 6 月・7 月分)

.....

京都府立医科大学発の学術論文(PubMed 収載)のうち、2022 年 6 月・7 月発行分のものについて、お知らせします。(検索日 2022/8/5 202 件)

◆ ↓ 次の URL をクリックしてください ↓ ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/1FS3cNp9hWvAN/collections/62053308/public/>

この情報は以下の抽出条件のもとに月に 1 回お知らせしています。

- ①直近 2 ヶ月分
- ②論文の著者が本学所属

---

【2】 --- 日本語の電子ブック 7300 冊トライアル中！

.....

「メディカルオンライン」イーブックスライブラリーの全書籍 7377 冊を期間限定で提供しています。

『眼科診療ビジュアルラーニング』『エビデンスに基づく老年看護ケア』の人気図書、『COVID-19 神経ハンドブック』など新刊に加え、『別冊日本臨牀：領域別症候群シリーズ』も閲覧可能です。

- ◆アクセス先：<https://www.medicalonline.jp/> > 「イーブックス」をクリック
- ◆利用案内：<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/news/2022/files/31363.pdf>
- ◆配信書籍リスト：<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/news/2022/files/31362.pdf>
- ◆トライアル期間：2022/8/1(木)～11/30(日)

---

### 【3】 --- 貴重書全文アーカイブに

#### 『歴代名醫傳略』『儒門事親』『製藥式』『脚氣論』追加

.....

[デジタルアーカイブ](#)「貴重書全文アーカイブ」に新たに 4 点(12 冊)追加しました。

#### 【[歴代名醫傳略](#)】レキダイ メイイ デンリャク 天明 7 年(1787)

吉田意安（宗恂）編。2 巻(2 冊)。宗恂は父宗桂同様、中国・明に渡り最新の医学を日本に紹介した（【[歴代名医一覧](#)】の項参照）。豊臣秀吉・徳川家康に仕え『古今医案』などを著した。本書は「上古」の伏羲・神農・黄帝に始まり、明の龔廷賢にいたるまで 401 名の名医を対象とする。宗恂は曲直瀬道三の学統に連なり、慶長 2 年(1597)の序にも「医は意なり。理なり。けだし意をもって理を窮むるの称なり。それ性理を明むるものは儒学にして、寿命を保んずるものは道教なり。これを兼ねて有するものは医ならくのみ」と記す。これまでまとまった名医の伝記がないので、諸書を参考にして本書を著したという。

（[古医書コレクション](#)より）

#### 【[儒門事親](#)】ジュモンジシン 聖徳元年(1711)

張子和著。15 巻(5 冊)。著者の張子和は、金元医学の四大家の一人。蔡河に住んだ頃、麻知幾や常仲明と交遊を結び、日々医術の奥義を論議したものを一書とし、『儒門事親』と名付けた。

張子和は『素問』や『傷寒論』を根拠に、寒涼剤を多く用いた。疾病の原因は外部の邪気が体内に侵入することによると考え、汗吐下の三法で、邪気を排除する治療を特徴とする。例えば『儒門事親』巻一の立諸時気解利禁忌式に、彼は劉完素流の辛涼剤を四十余年用いた

結果、傷寒・温熱・中暑・伏熱などを数えきれぬほど治したと豪語するなど、その運用にたけていたらしい。その一方、巻二の推原補法利害非輕説に「養生当論食補。治病当論藥攻」と主張するごとく、いわゆる温補剤による補法の弊害を強く唱えた。薬補を否定する代わりに、邪を攻めて駆逐すると元気は自ずから回復する、という見解を提起している。

---

#### 【4】 --- UpToDate で見るサル痘最新情報

---

WHO で「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と声明が発表され、遂に国内でも感染者が確認された「サル痘」の情報収集について、UpToDate の活用例が案内されました。

以前の発生例では、UpToDate 内にて「人から人への持続的な感染はまれであった」と記載されています。今後、発表される論文、症例報告、研究結果等に基づいた最新の知見を引き続き UpToDate で確認し、効率的に医療現場での診療や業務にお役立てください。

- ・臨床トピック：[サル痘](#)
  - ・患者向け情報：サル痘（簡易）[Patient education: Monkeypox \(The Basics\)](#)
- 

#### 【5】 --- 「BMJ Best Practice」に腎機能薬剤情報追加

---

9/5(月)までトライアル中の臨床意思決定支援ツール「[BMJ Best Practice](#)」に新たな機能が追加されました。

腎疾患の治療薬ハンドブック「Renal Drug Handbook(RDH)」※に収録されている薬剤情報を PDF ファイルで閲覧できます。腎機能に問題を抱えた患者を診断するとき、ヘルスケアの専門家や医学生が、薬剤や投与量に関するガイダンスに容易にアクセスできることを目指しています。利用例は[こちら](#)。

※Renal Drug Handbook (RDH)：薬剤に関する 800 以上の情報を網羅したハンドブック。英国の腎臓内科での経験をもとに、薬剤の使用に関する情報を参照できる実務的なリソースです。

---

[Book Review]

---

「氷室冴子:没後 10 年記念特集」文藝別冊（河出書房新社 2018）

府立図書館の本棚を眺めていた時に見つけた図書。集英社のコバルト文庫を代表する作家の回顧誌である。私にとって氷室作品は学生時代のバイブルで、ほぼ全書籍を所蔵している。代表作の「ざ・ちえんじ」「ジャパネスク」は平安時代の話で、漫画版も発行され、面白い。「海が聞こえる」はスタジオ・ジブリでアニメ化された作品だ。

さて内容は…あれ？「クララ白書」「アグネス白書」のイラストは原田治が描いている?!…え？藤田和子の宝塚漫画「ライジング！」の原作者は、氷室冴子?連載中、宝塚ファンだった氷室が取材名目で宝塚市へ引っ越したエピソードに驚いたが、それどころか、藤田との電話代が膨大になり、今度は藤田が東京へ移住したのにもびっくり。驚きだらけのムックだった。

氷室冴子の人となり分かってとても面白い。山村美紗と並び、もっと生きて作品を書いてほしかった作家である。(M.H)

(京都府立図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/430997953X>

.....

図書館メール News 第 471 号      2022.8.5 発行（隔週金曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>